

1. はじめに

本校において高等教育機関としてふさわしい質の高い教育を行うために、カリキュラムの見直しや設備の充実をはじめ、企画・教務部や各学部においてさまざまな改革や試みがなされてきた。それらが効果的且つ実質的に実施され、成果をあげていくためには、各種制度の運用や実行に関しての組織的支援体制の確立と運用、そして IT を利用した教育支援システムの活用が不可欠である。しかし、本校において IT を利用した教育支援システムは教員を対象とした事務部門で一部運用されているが、教員と学生へのサービスを意図したシステムは残念ながら存在していないのが実状である。そこで学生生活の質の向上を目指した学生支援システム（学生生活支援情報をデジタル化したサービス）の構築を目指すことを研究テーマとした。本システムは学生の必要とする情報の取得を用意し、学習の効率向上をはかるものである。また、本校における IT を利用した教育サービスの向上に寄与することも目的としている。

2. 機能

提供する機能は、科目単位のシラバスやレポート等の情報を扱う機能と、それに限らず学校の事務情報等のような全般的な情報を扱い個人に提供する機能との二つに大別される。本研究においては後者を扱い、その内容としてお知らせ、事務情報、リンク集の 3 つの機能の実現を目指す。お知らせはユーザーに関しての伝達情報を表示するシステムで、また自身が発信元となって伝達することも出来る。発信先は個人、クラス、部活、などといったさまざまなグループに分けて送信することが可能とする。事務情報は身体測定や成績、出欠席等といった個人情報を読覧する事が出来るが、それらの情報入力是一定の権限をもったユーザーによってのみに編集される。また個人情報に限らず、Info や図書室の新刊情報等といったさまざまな情報も閲覧可能である。リンク集は学習や学校生活における有用な情報を扱ったサイトを集め、ネット上における図書館のような機能を目指す。以上が機能の説明である。

3. 結果

本システムはウェブサイト上における CGI の機能を用いて必要情報を扱っているデータベースと

の間に適宜情報を相互伝達することによって実現する。HTML でインターフェースを構成し、PHP 言語を用いて Web 上におけるプログラム実装を実現する。データベースは MySQL のシステムを用いて構築する。提供される情報はすべてデータベース化し、更新作業を定期的に行うことによってタイムリーな情報閲覧を実現する。これらの機能を利用するためには、ユーザーとして個人情報が登録されていることを必要条件とする。各ユーザーに対してそれぞれの ID を与える。その ID によって認証、個人の特定を行ってユーザーの管理を行う。

4. 結論

学生生活における質の向上を目指した支援サービスの機能について、調査分析を行い、必要な機能を提案した。今後、提案したプログラムが開発され学生生活の質の向上を支援するサービスが実現されることを期待する。また、同時に次の段階で発生する問題点について考察した結果を本論にまとめた。

参考文献

- [1]山田 祥寛, “Pocket 詳解 PHP 辞典” 秀和システム 2006
- [2]石田 豊, “MySQL 入門以前” 毎日コミュニケーションズ 2005